

堆肥入りの肥料を開発しました

キャベツ・ハクサイ栽培で土づくりでき、追肥が省けます

【背景・目的】

県内のキャベツ・ハクサイ産地では、堆肥などの有機物の投入が不十分な圃場が見られます。

そこで、家畜ふん堆肥を含み、土壌養分バランスが改善でき、さらに追肥を省略できる新しいタイプの肥料を肥料メーカーと共同で開発しました（図1、図2）。

【成果の内容】

- 1 開発した肥料は、土づくり効果の高い牛ふん主体の家畜ふん堆肥を含んでいます。また、土壌養分バランス改善のため、不足がちな苦土・ホウ素を含み、過剰傾向にあるリン酸を少なくしています。さらに、追肥作業を省くために緩効性窒素肥料等を混合し、散布しやすいようにペレット状に造粒しています（図1）。
- 2 年内どり作型のキャベツ、ハクサイ栽培の基肥として、開発した肥料を10a当たり250～280kg施用すると、追肥が不要になり（図3）、高度化成肥料や有機化成肥料の分施栽培と同等の収量が得られ、さらに連用によって土壌肥沃度が向上します。

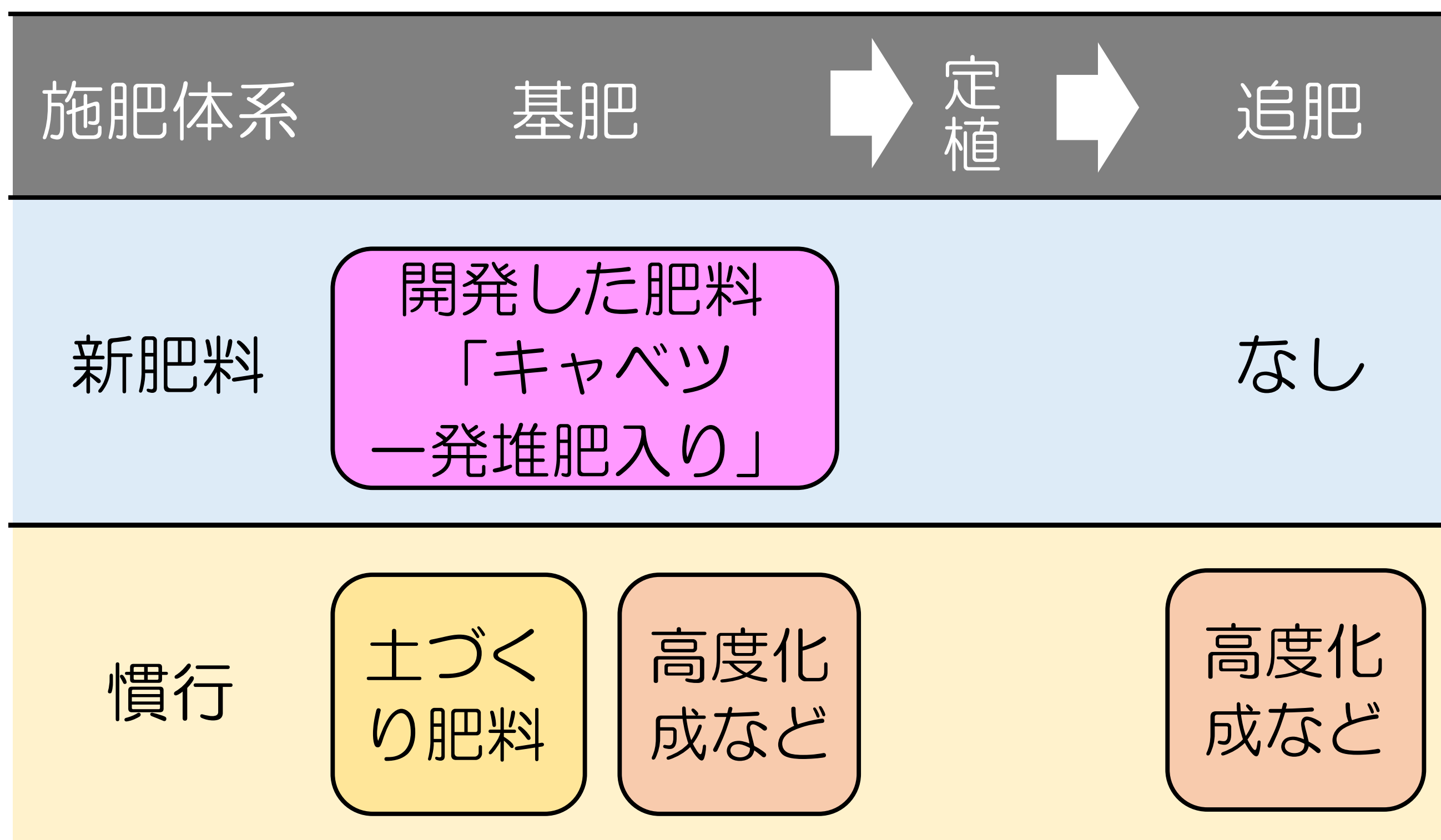


図1 開発した肥料



図2 製品「キャベツ一発堆肥入り037」

図3 施肥体系の比較（キャベツ、ハクサイ栽培）



お問い合わせ先

岡山県農林水産総合センター
赤磐市神田沖1174-1

農業研究所

TEL. 086-955-0271